

滋賀県基本構想

夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀

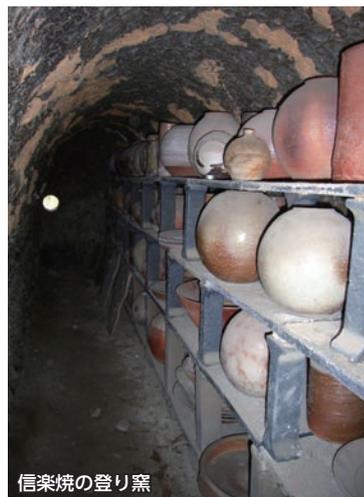
みんなで作るう！ 新しい豊かさ



大津駅での石けん運動啓発活動(1970年代)



びわ湖の目環境美化活動(大津地区)



信楽焼の登り窯



長浜夷山まつり



湖西線40周年記念号



八幡堀(重要文化的景観「近江八幡の水郷」)

滋賀県

みんなで作ろう！ 新しい豊かさ

✓ 滋賀県基本構想とは？

- 滋賀県では、県政を総合的に推進する指針として、また、県民の皆さんや各種団体、企業などと理念を共有し、その実現に向けて、ともに取り組むための将来ビジョンとして「滋賀県基本構想」をまとめました。
- この基本構想は、ほぼ一世代後の平成52年(2040年)頃を展望した「長期ビジョン編」と、平成27年度(2015年度)からの4年間で取り組む「重点政策編」で構成しています。

✓ 時代の潮流と課題

- 本格的な人口減少社会の到来と少子高齢化の進行、東日本大震災等を契機とした大規模な地震災害とエネルギー政策などへの不安の高まり、これまでに経験したことのない異常気象による水害・土砂災害の恐れ、経済・社会のグローバル化の進行など、滋賀県を取り巻く情勢は大きく変化しており、時代の大きな転換期を迎えています。

- 1 本格的な人口減少社会の到来と少子高齢化の進行
- 2 価値観の多様化とつながりの希薄化
- 3 暮らしを取り巻く状況の変化
- 4 経済のグローバル化と本県の産業の動向
- 5 エネルギーをめぐる社会情勢の変化
- 6 複雑化・多様化する環境問題
- 7 新たな広域ネットワークの形成による人やものの流れの変化
- 8 災害などへの不安を取り除く安全・安心な県土づくり
- 9 地方自治を取り巻く状況の変化

✓ 滋賀の強み

「湖国」と呼ばれる滋賀には、多彩な人、技術やノウハウ、歴史・文化、地の利、豊かな自然という強みがあります。これらを伸ばし、活かすことによって、県民の皆さんなどあらゆる主体が対話を重ねて知恵を出し合い、共感しながら工夫を凝らして、誰もが豊かさを実感できることが求められています。

ともに地域を支え合う多彩な人

住民自治の精神、福祉など支え合いの実践、若者やNPOによる自発的な活動等



「滋賀の強み」を活かして
皆さんといっしょに
「新しい豊かさ」をつくります。

未来を創造する技術やノウハウ



内陸工業県としての産業集積、環境や健康分野での独自技術、大学の集積等

誇りを高める歴史・文化

豊かな歴史資源と文化・芸術環境、「三方よし」の思想等



✓ 基本理念

夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀 ～みんなでつくろう！新しい豊かさ～

人口減少社会の到来など時代の大きな転換期を迎え、経済・社会が成熟し、かつてのような経済成長が望めなくなる中、将来に対する不安を安心に変え、夢や希望を抱くことができる豊かな社会を築くことが求められています。

時代とともに変化するさまざまな課題に向き合ってきた先人たちの歴史と伝統に学びながら、滋賀の強みを活かし、次世代のことも考えた新しい豊かさを追求します。

滋賀からみんなでつくる新しい豊かさ

「自分」の
豊かさ

「今」の
豊かさ

「もの」の
豊かさ



みんなが 将来も持続的に
実感できる「心」の豊かさ

県民一人ひとりが考え、行動することで、
つながりや調和のある
豊かさ実感・滋賀の実現を目指します。

✓ 5つの目指す姿

基本理念の実現に向けて、「ひと」「地域の活力」「自然・環境」「県土」「安全・安心」の視点から、ほぼ一世代後となる平成52年(2040年)頃にも「このように豊かでありたい」と願う望ましい姿を、県民の皆さんからの提案などを参考に『5つの目指す姿』として掲げました。

時代の潮流と課題を踏まえつつ、滋賀の強みを活かしながら、「新しい豊かさ」の実現に向けて、皆さんと一緒に取り組んでいきます。

①ひと

互いに支え合い、誰もが自らの能力を
発揮し活躍する、夢や希望に満ちた滋賀

②地域の活力

滋賀の力を伸ばし、活かす、
誇りと活力に満ちた滋賀

③自然・環境

美しい琵琶湖を大切にす、
豊かな自然と共生する滋賀

④県土

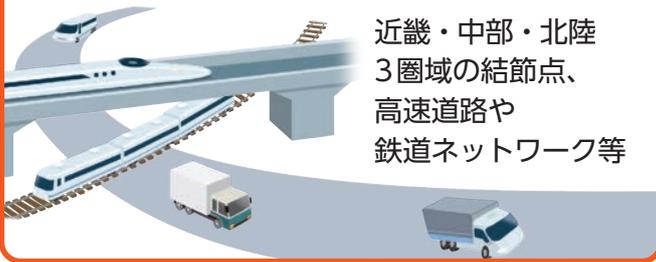
暮らしと産業を支える基盤が整い、
人やものが行き交う元気な滋賀

⑤安全・安心

将来への不安を安心に変え、
安全・安心に暮らせる滋賀



滋賀の発展を支える地の利



近畿・中部・北陸
3圏域の結節点、
高速道路や
鉄道ネットワーク等

恵みをもたらす豊かな自然

琵琶湖をはじめ豊かな自然環境、
自然と人との特有の関わり等



✓ 基本構想の推進

県民の皆さんの参加や多様な主体との対話・共感・協働の推進、市町との連携の強化などにより、効果的に施策を展開します。また、情勢の変化や人口動態の違いなど地域の実情にも対応していきます。

「平成30年度(2018年度)の目標とする指標」(裏表紙に掲載)や実施計画における「事業目標」の進捗度、外部環境の変化等を中心に基本構想の進行状況を把握し進行管理を行います。また、その結果をその後の施策展開に的確に反映することにより、目標管理型行政運営の一層の推進を図ります。

✓ 行政経営方針

「攻め」「見える」「前向き」の視点に立ち、次の経営方針に基づき、行政経営に取り組みます。

- 1 開かれた県政の推進と多様な主体との協働・連携
- 2 地方分権のさらなる推進
- 3 質の高い行政サービスの提供

「7つの重点政策」で、「新しい豊かさ」の実現を目指します!

滋賀県でも人口が減少に転じ、本格的な人口減少社会を迎えようとしています。このような中、「夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀」の基本理念のもと、「長期ビジョン編」に描かれた平成52年(2040年)頃の『5つの目指す姿』を実現していくために、これからの4年間で先

駆的・重点的な「7つの重点政策」に取り組んでいきます。

滋賀県には、環境や福祉の分野を中心に、国に先駆けた政策で全国をリードしてきた歴史があります。重点政策の展開に当たっては、その先駆けの精神を重視していきます。

重点政策

4

琵琶湖をはじめとする
めぐみ豊かな環境といのちへの
共感を育む社会の実現

施策

- 琵琶湖環境の再生・継承
- 低炭素化など環境への負荷が少ない安全で快適な社会の実現
- 環境の未来を拓く「人」・「地域」の創造

琵琶湖漁業の
漁獲量(外来種を除く)を
増やします!



オオバナミズキンバイの駆除活動(守山市)



低炭素社会づくり促進のための啓発活動(大津市)



琵琶湖博物館の「地域発見!参加型移動博物館」



1

子どもの生きる力を育み、 若者や女性が輝く社会の実現

認定こども園

などを利用する
児童の数を
増やします！

施策

- 子どもを安心して生み育てるための切れ目のない支援
- 子どもの「たくましく生きる力」を育む教育の推進
- 若者や女性が働き、活躍できる社会づくり



妊産婦が安心して利用できる「ゆりかごタクシー」



授業に話し合う活動を取り入れ、一人ひとりの「学ぶ力」を育む



働きたい女性の希望を叶える応援窓口「滋賀マザーズジョブステーション」

5

豊かに実る美しい地域づくりと 滋賀・びわ湖ブランドの発信

観光入込客数を
増やします！

施策

- 滋賀の強みを活かした農林水産業振興と魅力ある農山漁村づくり
- 滋賀のブランド力向上と地産地消の推進
- 「滋賀ならではの」特色を活かした、魅力あふれる観光の創造



環境こだわり農産品の栽培ほ場と水稲の新品種「みずかがみ」のパッケージ



滋賀らしい価値観を持つ商品やサービスを集めた「ココクール マザーレイク・セレクション」



湖中に立つ大鳥居の姿から「近江の厳島」と呼ばれる白鬚神社



すべての人に居場所と出番があり、
最期まで充実した人生を
送れる社会の実現

健康寿命

(日常生活動作が
自立している期間)を
伸ばします！



施策

- 高齢者や障害者をはじめ、誰もが働き、活躍できる社会づくり
- 健康寿命を伸ばすための予防を重視した健康づくりの推進
- 地域を支える医療福祉・在宅看取りの推進



就労施設で働く、
福祉型障害児入所施設の卒園生



従来品より画像が鮮明、撮影時間も短縮した、
最新型 PET-CT (県立成人病センター)



新人訪問看護師確保・育成事業が
訪問看護師をサポート

「文化とスポーツの力」を活かした
元気な滋賀の創造

文化やスポーツを
楽しめるまちづくりに
満足している
県民の割合を
増やします！

施策

- 東京オリンピック・パラリンピックで元気な滋賀づくり
- 地域を元気にする文化振興と「美の滋賀」づくり
- 県民が元気になるスポーツ振興と県民総参加による国体・全国障害者スポーツ大会の開催



次世代アスリート発掘育成プロジェクト
「滋賀レイキッズ」での体幹トレーニング



世界遺産に登録されている比叡山延暦寺



ボードレスアートミュージアム NO-MA での
アールブリュット作品展 (撮影 大西暢夫)



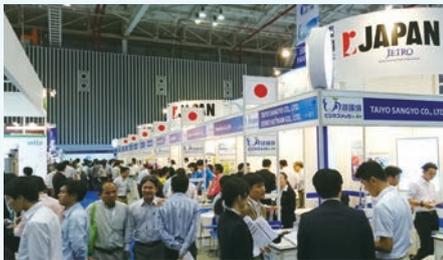
3

滋賀の強みを活かし、 新たな強みを生み出す 滋賀発の産業の創造

本社工場・ マザー工場・ 研究開発拠点の 立地件数を 増やします！

施策

- 滋賀の潜在資源を活かした地域産業の育成と海外展開支援
- これからの時代を切り拓くイノベーションの創出
- 地域主導による「地産地消型」・「自立分散型」の新しいエネルギー社会づくり



しが水環境ビジネス推進フォーラムの活動
([VIETWATER2014] へ出展)



地域資源を活かした蓄電池材料開発



県内最大級のメガソーラー (日野町)

7

人やものが行き交う 活力ある県土づくりと 安全・安心社会の実現

個別インフラ ごとの 長寿命化計画の 策定数を増やします！

施策

- 交通ネットワークの充実と社会インフラの戦略的維持管理
- 災害に強い県土づくりと自助・共助による地域防災力の向上
- 犯罪の起きにくい社会づくりと事故のない交通環境の構築



平成 25 年 10 月に開通した
湖東三山スマート IC



水害に強い地域づくり協議会で過去の
浸水深を確認している様子 (東近江市)



通学路の歩道を整備し、
歩行者の安全を確保した道路 (長浜市)



7つの重点政策 平成30年度(2018年度)の目標とする指標

重点政策	指標名	実績	平成30年度目標
1 子どもの生きる力を育み、若者や女性が輝く社会の実現	乳幼児健康診査受診率	平成24年度 1歳半児 95.1% 3歳半児 92.7%	1歳半児 97% 3歳半児 95%
	認定こども園等利用児童数	平成25年度 47,109人	52,614人
	児童生徒の授業の理解度	平成26年度 小学校国語 78.9% 算数 77.6%	小学校国語 85% 算数 85%
		中学校国語 65.4% 数学 67.7%	
	平日、学校の授業以外に、1日1時間以上勉強する児童生徒の割合	平成26年度 小学校 58.3% 中学校 63.7%	小学校 75% 中学校 75%
	不登校児童生徒在籍率 (参考)平成25年度全国平均: 小学校0.37% 中学校2.81% 高等学校1.88%	平成25年度 小学校 0.42% 中学校 2.63% 高等学校 2.51%	全国平均以下 全国平均以下 全国平均以下
	滋賀マザーズジョブステーションの相談件数	平成25年度 年間 2,069件	年間 5,400件
	おうみ若者未来サポートセンターの就職者率	平成25年度 55.4%	60%
2 すべての人に居場所と出番があり、最期まで充実した人生を送れる社会の実現	就業中の障害者数	平成25年度 5,444人	6,450人
	シルバー人材センターの会員数	平成25年度 11,958人	13,200人
	健康寿命(日常生活動作が自立している期間)	平成24年度 男性 79.79年 女性 83.29年	男性 80.13年 女性 84.62年
		特定健康診査(メタボ健診)受診率	
	介護職員数(実数)	平成25年度 16,500人	20,000人
	在宅療養支援診療所数	平成25年度 104診療所	160診療所
	3 滋賀の強みを活かし、新たな強みを生み出す滋賀発の産業の創造	海外支援拠点の利用件数	平成25年度 0件
中小企業の新製品等開発計画の認定件数		平成25年度 5件	32件(累計)
本社工場、マザー工場、研究開発拠点立地件数		平成25年度 2件	10件(累計)
再生可能エネルギーの発電導入量		平成25年度 22.2万kW	47.2万kW
地域主導による再生可能エネルギー創出支援件数		平成25年度 4件	18件(累計)
4 琵琶湖をはじめとするめぐみ豊かな環境といのちへの共感を育む社会の実現	琵琶湖漁業の漁獲量(外来魚を除く)	平成25年度 879トン(速報値)	1,400トン
	琵琶湖水質に関する新たな指標の導入	平成25年度 —	新たな指標の導入
	再生可能エネルギーの発電導入量(再掲)	平成25年度 22.2万kW	47.2万kW
	低炭素社会づくり学習講座の受講者数	平成25年度 3,244人	15,000人(累計)
	環境保全行動実施率	平成26年度 67%	73%
5 豊かに実る美しい地域づくりと滋賀・びわ湖ブランドの発信	新規就農者数	平成25年度 130人	400人(累計)
	世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策の取組面積	平成25年度 33,062ha	37,000ha
	環境こだわり農産物水稲栽培面積割合	平成25年度 39%	50%
	観光消費額	平成25年度 1,545億円	1,640億円
	観光入込客数(延べ)	平成25年度 4,523万人	4,800万人
6 「文化とスポーツの力」を活かした元気な滋賀の創造	文化やスポーツを楽しめるまちづくりに満足している県民の割合	平成25年度 34.6%	50%
	1年間に文化創作活動を行ったことのある県民の割合	平成25年度 71.4%	75%
	1年間に芸術文化を鑑賞したことのある県民の割合	平成25年度 77.3%	85%
	文化財の指定件数	平成25年度 1,325件	1,365件
	成人の週1回以上のスポーツ実施率 (参考)平成24年度全国47.5%	平成24年度 45.2%	全国の数値を上回る
	障害者スポーツ県大会およびスペシャルスポーツカーニバルの参加人数	平成25年度 1,527人	2,000人
7 人やものが行き交う活力ある県土づくりと安全・安心社会の実現	個別インフラごとの長寿化計画の策定	平成25年度 9計画	34計画
	鉄道輸送人員	平成24年度 357,617人	363,000人
	土砂災害警戒区域指定率	平成25年度 73.3%	100%
	危機管理センターにおける研修等の受講者数	平成25年度 —	延べ3,600人(累計)
	人口1万人当たりの刑法犯認知件数 (参考)平成25年全国平均102.9件	平成25年 108.8件	全国平均以下

滋賀県基本構想

検索



お問い合わせ

滋賀県総合政策部企画調整課 電話 077(528)3312 ファックス 077(528)4830
メールアドレス cu0003@pref.shiga.lg.jp

滋賀県基本構想

夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀
～みんなでつくらう！新しい豊かさ～

構想策定：平成27年(2015年)3月16日

発行：平成27年7月

発行者：滋賀県(総合政策部企画調整課)

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号

電話077(528)3312

県ホームページアドレス <http://www.pref.shiga.lg.jp/>

